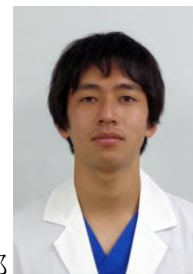


和歌山病院での実習を終えて



永野 翔太郎

今回、和歌山県立医科大学の呼吸器内科の院外実習として、2日にわたり和歌山病院で実習させていただきました。

1日目は駿田副院長に結核の感染様式を、南方院長に胸部 X 線の正常画像について、他にも人工呼吸器、呼吸不全について教えて頂きました。結核については実際に N95 マスクを着用し結核病棟の中に入り、病棟全体の構造についても教えて頂きました。隔離病棟というので、重苦しい病棟を想像していたのですが、実際見学してみると陰圧陽圧のための風が出ていることと医療従事者が N95 マスクを着用していること以外は普通の病棟という印象を受けました。また実際に N95 マスクを着用して息苦しさを実感することもできました。胸部 X 線の正常画像についてのセミナーでは、大学では教えて頂くことのなかった胸部 X 線の見方を基礎から教えて頂き、とても勉強になりました。また、今までは教えられ覚えるといった勉強をしてきたのですが、今回和歌山病院で考えるということ学び、考える方がその後の定着が良いと実感しています。

2日目は結核の病態・画像、ブロンコ体操、胸部 X 線の見方について教えて頂きました。どのセミナーも全員が理解するまできちんと教えて頂き、とても勉強になりました。

また一日目の夜に南方院長にご飯に連れて行ってもらい、今後の研修医制度の話や今後の和歌山の医療についてなどたくさん話を聞くことができました。

最後になりましたが、お忙しいにもかかわらず、私たちに貴重な機会を与えて下さった南方院長、駿田副院長をはじめ、ご協力いただいた全ての職員の方に感謝申し上げます。ありがとうございました。